

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域の活動を発信し、仲間の活動がより活性化していく事業		
事業主体 (連絡先)	笑ったり寄ったり 飯田市長野原117-1		
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に関する事業		
事業タイプ	ソフト・ハード		
総事業費	414,457円 (うち支援金: 310,000円)		

事業内容

- 都市と農村の交流事業
 - 横浜反町東横フラワー緑道フェスタにて南信州の農産物・加工品を試食販売と交流会
 - 横浜より農村の野菜収穫体験と交流会
- 地域の魅力・活動の魅力をより発信出来る事業
飯田市長野原のシニア世代の活動、交流の様子を載せたパンフレットを作りイベント・棚置き等で配布し、興味を持っていただく
- 地域の伝統食文化を地域の方々に伝える事業
身近な地域のイベントに参加し、試食し、昔から伝わる味を味わっていただき広めていく



【地域の魅力・活動の魅力を発信するパンフレット】

【目標・ねらい】

- 竜丘のシニア世代の活動の良さを広める為にパンフレットや交流を通して発信する
- 各種イベントに参加しユーザーにPRし加工品のファンを増やす
- シニア世代の活動の魅力を後世に伝えていく

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 都市との交流や各種イベントで竜丘、長野原の活動をパンフレットの写真を見て頂きながら配布したことで興味を持って見て頂けた。竜丘の魅力も伝えられている。
- 地域の身近なイベントに多く参加したことや、都市との交流などでも、まず試食し味を気にしてから購入して頂くシステムからファンが増えてきている。
- シニア世代の地域の仲間が協力し合って活動してきたことでいろいろな団体(鷲流峡復活プロジェクト・長野原竹宵の会・野菜の会・そばの会・笑ったり寄ったり)の結束が見られる。この姿を後世に伝えていく。

※自己評価 **【A】**

【理由】
交流にも進展が見られ、加工品にも興味を持って頂く方が増え。仲間の活道が活性化していることを感じる。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- シニアの世代がより楽しく・長く、仲間と活動展開出来るように、イベント参加や交流内容を考え無理のない選択し、情報をより沢山発信していく。
- 地域の伝統食文化を後世伝える為に、安心して安全な加工品作りを追求する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点があ